

令和4年度

看護学研究科（博士前期課程）

問題・出題の意図・解答のポイント

令和3年9月11日

高知県立大学大学院

小論文

問 看護実践において、対象のもつ生活史を尊重したケアを実践していくための方略について、あなたの考えを述べてください。

(100点)

<出題の意図>

看護者は、あらゆる場において、対象のもつ生活史を尊重したケアを実践していくことが求められている。この設問により、看護実践における対象のもつ生活史を尊重したケアに関する専門的知識、看護実践に対する洞察力、論理性と抽象的思考力をみる。

<解答のポイント>

対象のもつ生活史を尊重したケアを実践していくための方略として、対象の語りを促し傾聴すること、対象の現在、過去、未来の主観的な時間の流れからその人の生きざまを捉え日常生活を支援すること、対象と自分の価値観の違いを洞察し理解すること、などについて、自分の考えを述べていること。

英語 CNSコース・研究コース

次の英文を読み、下記の質問に日本語で答えてください。

(100点)

出典：Patricia Biller Krauskopf:13. Evidence-Based Practice: Staying Informed and Translating Research Into Practice and Policy, Kathryn A. Blair: Advanced Practice Nursing Roles Core Concepts for Professional Development, Sixth Edition, Springer Publishing Company, p.256, 2019. より抜粋

<出題の意図>

大学院博士前期課程において必要となる基礎的な英文読解力と、設問の内容を的確に把握し解答する力をみる。

問1 研究を実践に用いることを妨げるものについて、筆者はどのように述べているか、要約してください。

(50点)

<解答のポイント>

以下の内容を含んでいること。

- ・ 個人的要因と、組織的要因の2つに要約することができる
- ・ 個人的要因としては、
 - 研究過程に関する知識が十分ではない
 - 研究や科学論文、レポートを読んで評価する能力が不足している
 - 実践を変える権限を持っていないなどがある
- ・ 組織的要因としては、
 - 研究にアクセスできない
 - 変化に取り組むためのリソースが十分ではない
 - スタッフや同僚からの支援が不足しているなどがある

など

問2 研究を看護実践に活用していくために、あなたはどのように取り組みますか。英文の内容も参考にして、あなたの考えを述べてください。

(50点)

<解答のポイント>

提示された英文も参考にして、自らの考えを述べていること。

英語 実践リーダーコース

次の英文を読み、下記の質問に日本語で答えてください。

(50点)

出典: Susan Gebhardt Taylor, Katherine Renpenning: SECTION I: SELF-CARE SCIENCE AND NURSING THEORY: 1. The Proper Object of Nursing and a Theory of Nursing Practice: Self-Care Science, Nursing Theory, and Evidence-Based Practice, Springer Publishing Company, p. 3, 2011. より抜粋

<出題の意図>

大学院博士前期課程において必要となる基礎的な英文読解力と、設問の内容を的確に把握し解答する力をみる。

問1 下線部を日本語に訳してください。

(20点)

<解答のポイント>

文章を正しく捉えて、日本語に訳していること。

問2 看護専門職のセルフケア不足に対する支援は、非専門職の支援と何が違うと考えますか。あなたの考えを述べてください。

(30点)

<解答のポイント>

設問に対して、自らの考えを述べていること。

専門科目 がん看護学

問1 倦怠感のある進行がん患者への看護援助について、以下の1)、2)に教えてください。

(100点)

- 1) 進行がん患者の倦怠感の発現に関連する要因について説明してください。
- 2) 1) であげた要因をふまえて、倦怠感のある進行がん患者への看護援助について、根拠とともに述べてください。

<出題の意図>

進行がん患者の多く(32~90%)が体験し、QOLに様々な影響を及ぼす倦怠感を緩和する援助は重要である。この設問により、進行がん患者の倦怠感に関する専門的知識、苦痛緩和に関する看護実践能力、論理的思考力をみる。

<解答のポイント>

- 問1-1) 進行がん患者の倦怠感の発現に関連する要因について、がん自体によるもの、治療に伴うもの、他の症状(貧血、悪液質、感染等)に伴うもの、薬剤によるもの、不安や抑うつ、などの点から説明していること。
- 問1-2) 倦怠感のある進行がん患者への看護援助として、1)でとりあげた要因をふまえて、全人的アセスメント、苦痛の緩和、日常生活への援助、心理的サポート、などを根拠とともに述べていること。

問2 治療過程にある高齢がん患者への看護援助について、以下の1)、2)に教えてください。

(100点)

- 1) 高齢がん患者が治療過程において直面する特徴的な課題をとりあげて、説明してください。
- 2) 治療過程にある高齢がん患者への看護援助に有用と考える概念を1つとりあげて、その概念を用いてどのような看護援助を行うかについて、具体的に述べてください。

<出題の意図>

高齢がん患者が治療過程において直面する課題を理解し、患者が望む生活を維持できるように援助することは重要である。この設問により、治療過程にある高齢がん患者への看護援助についての専門的知識、分析力、看護実践能力、論理的思考力をみる。

<解答のポイント>

問2-1) 高齢がん患者が治療過程において直面する特徴的な課題（加齢に伴う生理的変化、エビデンスがない中での治療の選択、生活や認知機能低下など）について説明していること。

問2-2) 有用と考える概念（意思決定、QOLなど）を1つとりあげて、その概念を用いて、治療過程にある高齢がん患者への看護援助を具体的に述べていること。

専門科目 小児看護学

問1 隔離を必要とする幼児期の子どもの看護について、以下の1)、2)、3)に答えてください。

(130点)

- 1) 子どもの体験について、理論あるいは概念を用いて説明してください。
- 2) 幼児期の子どもの隔離において脅かされると考えられる子どもの権利を1つとりあげて、説明してください。
- 3) 上記の1) 2) をふまえて、あなたが重要であると考える看護実践について、具体的に述べてください。

<出題の意図>

隔離を必要とする幼児期の子どもの体験を理解し、看護を実践することは、小児看護の重要な課題である。この設問により、このような状況にある子どもへの看護に関する専門的知識、看護実践能力、論理的思考力をみる。

<解答のポイント>

- 問1-1) 隔離を必要とする幼児期の子どもの体験について、理論(自我発達理論や認知発達理論など)や概念(ストレス、不安など)を用いて説明していること。
- 問1-2) 子どもの権利(最善の利益、発達の確保など)を1つとりあげて、説明していること。
- 問1-3) 上記の1) 2) をふまえて、子どもを一人の人として尊重する看護実践について、具体的に述べていること。

問2 次の事例を読んで、あなたが重要であると考え家族への看護援助を1つとりあげて、根拠とともに述べてください。

(70点)

Aさん(3歳、男児)の家族は、父親、母親、Bさん(5歳、女児)の4人家族です。Aさんは、急性リンパ性白血病と診断され、入院して、2か月が経過しました。母親はAさんに付き添っています。Bさんは、近所に住んでいる父方の祖

母の家に泊まり、保育園に通っています。父親も祖母の家から通勤しています。父親は、日曜日には、終日、母親と付き添いを交代しています。母親は、看護師に以下のように話しています。

母親の言葉

「母に、Bの世話も夫の世話も全部してもらってて……。母は、疲れた様子だった。“Bが、ここ数日、保育園に行きたがらなくて、困った”って……。母の家に行くと、“Aの薬は効いてるの？大丈夫なの？クリニックじゃなくて、もっと早く今の病院に行ったらよかった”と言われる。母から言われることを夫に話しても、“気にしないでいい。Aのことが可愛くて、心配でたまらないんだから”って言うだけ。夫には、仕事が終わったら母の家にBを迎えに行って、自宅に帰って、Bの世話をしてほしい。母を頼ってばかりで……」と話しています。

<出題の意図>

子どもの入院による家族生活への影響を理解し、看護を実践することは重要である。この設問により、子どもの入院により影響を受ける家族の看護に関する専門的知識、分析力、看護実践能力、論理的思考力をみる。

<解答のポイント>

家族への看護援助として、自責の念が強い母親への情緒的支援、家族のコミュニケーションの活性化をはかる、などについて、根拠とともに述べていること。

専門科目 在宅看護学

問1 在宅酸素療法を開始する療養者の自己管理能力を高める看護援助について、以下の1)、2)に答えてください。

(100点)

- 1) 看護援助を考えるうえで有用な理論や概念を1つとりあげて、説明してください。
- 2) 1)をふまえて、具体的な看護援助について根拠とともに述べてください。

<出題の意図>

在宅酸素療法開始時は、療養者・家族の健康の維持、QOLの向上に向け、自己管理能力を高める看護援助を展開することが重要である。この設問により、在宅酸素療法を開始する療養者の自己管理能力を高める看護援助に関する専門的知識、看護実践能力、論理的思考力をみる。

<解答のポイント>

- 問1-1) 有用な理論や概念について、セルフケア理論、症状マネジメントなどをとりあげて、説明していること。
- 問1-2) 1)をふまえて、在宅酸素療法を開始する療養者の自己管理能力を高める具体的な看護援助について、根拠とともに述べていること。

問2 以下の事例を読んで、訪問看護師としての看護援助を3つとりあげ、アセスメントとともに具体的に述べてください。

(100点)

Aさん(80歳、女性、長男夫婦と同居)は、75歳で脳梗塞を発症、麻痺はなく退院したが、徐々に小刻み歩行や尿失禁が時折みられるようになった。その後徐々に物忘れが進行し、「財布がなくなった」「嫁が食事をさせてくれない」など被害的な発言が多くなり、78歳頃、認知症(認知症高齢者の日常生活自立度Ⅲ-a)と診断された。

Aさんは1か月前に玄関先で転倒し右大腿骨骨折をおこし、手術後、回復期リハビリテーション病棟に転棟した。転棟後、見守りのもと病棟内は歩行器使用での歩行が可能となったが、新しい環境や職員になじめず部屋に閉じこもることが多くなり、尿便失禁や食事摂取量の減少もみられるようになった。そのため、家族が自宅

に連れて帰りたいと希望し、訪問看護を導入し自宅に退院することになった。

<出題の意図>

認知症高齢者が増加するなか、訪問看護師は認知症の悪化予防に向け支援することは重要な役割である。この設問により認知症高齢者への看護実践に関する専門的知識、看護実践能力、論理的思考力をみる。

<解答のポイント>

訪問看護師としての看護援助について、認知症の悪化予防、歩行能力の向上と安全な移動方法の調整、排便排尿コントロール、認知症の家族員と生活するための教育的支援、などから3つとりあげ、アセスメントとともに具体的に述べていること。

専門科目 母性看護学

問1 母親役割獲得への看護援助について、以下の1)、2)に教えてください。

(100点)

1) 母親役割獲得に影響を及ぼす要因について説明してください。

2) 母親役割獲得への看護援助を2つとりあげ、根拠とともに具体的に述べてください。

<出題の意図>

母親役割獲得への看護援助は、母性看護学の重要な役割である。この設問により、母親役割獲得への看護援助に関する専門的知識、看護実践能力、論理的思考力をみる。

<解答のポイント>

問1-1) 母親役割獲得に影響を及ぼす要因として、母親側の要因(出産体験の認知、自己概念など)、子ども側の要因(気質、反応など)、社会的環境的背景などを説明していること。

問1-2) 子どもとの相互作用を促す、育児技術の習得を促す、社会的役割への準備を促す、などの看護援助について2つとりあげ、根拠とともに具体的に述べていること。

問2 リプロダクティブ・ヘルスに関する女性の自己決定の課題を1つとりあげ、その課題に直面している対象者の自己決定への看護援助について、具体的に述べてください。

(100点)

<出題の意図>

リプロダクティブ・ヘルスに関する女性の自己決定への支援は、母性看護学の重要な役割である。この設問により、女性の自己決定への支援に関する専門的知識、分析力、看護実践能力、論理的思考力をみる。

<解答のポイント>

人工妊娠中絶や出生前診断などにまつわる自己決定の課題を1つとりあげ、それを踏まえて、意思表示、情報提供など自己決定への看護援助について、具体的に述べていること。

専門科目 看護管理学

問1 我が国の医療・介護の現場では、多職種協働、チーム医療が推進されている。看護職者が、多職種で構成されるチームをマネジメントしていくために、何が重要であるか、理由とともに述べてください。

(100点)

<出題の意図>

多職種協働、チーム医療が推進される昨今、多職種で構成されるチームをマネジメントする視点は重要である。この設問により、多職種で構成されるチームのマネジメントに関する専門的知識、分析力、論理的思考力をみる。

<解答のポイント>

多職種で構成されるチームをマネジメントしていくために重要なこととして、患者（利用者）や家族が抱える課題を明確にすること、課題解決のために多職種の専門性を活かすこと、チームで目標を共有・評価していくことなどについて、理由とともに述べていること。

問2 医療現場において、個々の職員が日々の倫理的な課題に対処していくために組織的な取り組みが重要である。具体的な倫理的課題の例を1つとりあげて、その課題解決に向けた組織的な取り組みについて、根拠とともに述べてください。

(100点)

<出題の意図>

医療現場において、倫理的な課題への組織的な取り組みが求められている。この設問により、倫理的な課題解決に向けた組織的な取り組みに関する専門的知識、分析力、論理的思考力をみる。

<解答のポイント>

医療現場における具体的な倫理的課題として、身体拘束、意思決定支援などを取りあげ、その課題解決に向けた組織的な取り組みについて、根拠とともに述べていること。

専門科目 地域保健学

【問1は必答問題です。問2、問3は選択問題です。1つを選択して答えてください。】

問1 地域や学校で働く専門職が行うケアの調整について、以下の1)、2)に答えてください。

(120点)

- 1) 地域保健もしくは学校保健においてケアの調整が必要とされる理由について述べてください。
- 2) ケアの調整が必要な事例を1つとりあげ、専門職としての具体的な活動について述べてください。

<出題の意図>

地域や学校で働く専門職が行うケアの調整は、多様な健康課題をもつ対象の健康の保持・増進を図り、主体的な健康行動を支援していくうえで重要である。この設問により、ケアの調整に関する専門的知識、分析力、看護実践能力、論理的思考力をみる。

<解答のポイント>

- 問1-1) ケアの調整が必要とされる理由について、健康課題の多様化・複雑化、保健医療福祉サービスの多様化と転換、異なる分野・業種間の連携の推進などについて述べていること。
- 問1-2) 事例を1つとりあげ、対象のニーズを把握しサービスやサポートにつなぐ、関係者をつなぎ合わせ支援体制を構築する、情報収集し関係者間で共有する、などの活動について具体的に述べていること。

問2 健康日本21(第二次)では、健康格差の縮小が基本方針に掲げられており、その実現のためには、健康無関心層をターゲットにした取り組みが一つの鍵になる。あなたの活動分野における健康無関心層を想定して、どのような取り組みを行うのか、根拠とともに述べてください。

(80点)

<出題の意図>

健康無関心層への健康づくりの取り組みは、地域保健活動における重要な課題であ

る。この設問により、健康無関心層への健康づくりの取り組みに関する専門的知識、看護実践能力、論理的思考力をみる。

<解答のポイント>

健康無関心層への健康づくりの取り組みとして、健康行動を起こしやすいインセンティブを提供する仕組みを作る、不健康な行動選択をしないように緩やかに誘導する仕組みを作る、対象者が健康行動の成果を実感できる情報提供を行う、などについて、根拠とともに述べていること。

問3 生活習慣の乱れから肥満傾向にある学童期の子どもの自己管理能力を高める養護教諭の支援について、重要な支援を2つとりあげ、根拠とともに述べてください。

(80点)

<出題の意図>

生活習慣の乱れから肥満傾向にある学童期の子どもの自己管理能力を高めるために、子どもの成長発達や家庭環境に応じた支援を行っていくことが重要である。この設問により、生活習慣の乱れから肥満傾向にある学童期の子どもの自己管理能力を高める支援に関する専門的知識、看護実践能力、論理的思考力をみる。

<解答のポイント>

重要な支援として、食事や運動などの生活習慣について子どもが自らの課題に気づき改善していくことができるよう個別の保健指導を行う、子どもの自己効力感を高める、これまでの生活習慣を見直し保護者とともによりよい健康を考えられるよう支援する、などから2つとりあげ、根拠とともに述べていること。